

一般質問



江 安
議員

○市立診療所（福島診療所）の過去の問題について

質 市立診療所の方（A氏）から、次のような話が寄せられました。

「診療所で購入している薬の値段が高い。わざと高い値段で購入していて、例えば、薬価100円の薬を50円で仕入れ可能にもかかわらず、90～95円で仕入れていた。平成25年度までは競争入札など行われた形跡はなかったため、平成26年度からは、5社の競争入札に変え、納入価は50%前後に抑えられ、その結果、薬剤購入費が年間約2千万円減少している。言い換えるなら、単純に計算すると、7年間で約1億4千万円の損失を診療所・市に与えたことになる。これまで市に対してこれらの問題点を指摘してきたが報告書がしめされていない。」という内容でした。

前所長の問題点の指摘に対し、調査の有無、調査の全容はいかがか。

副市長 前市長に指摘が寄せられ、診療所職員、総務課職員、健康ほけん課職員で調査しました。当時の事務担当職員への聞き取り、年間の医薬材料費、患者数の推移、診療報酬等の推移の調査を実施しました。平

成21年度から25年度までの5年間の平均と平成26年度を比較した結果、患者数が約3200人減少していること、ジェネリック医薬品が出始めて現在より高い値段であったことなどを考慮すると、特に問題はないと考えたところです。

質 この件で、前市長に報告書を出されたか。

副市長 調査の結果時において特に問題はなかったことから、前市長に對しても口頭で報告をいたしました。

質 調査結果はA氏に報告されたか。されていないならその理由は何か。

副市長 診療所事務長から所長に報告を行っています。また、さらなる報告を求められたため、総務課職員が報告しています。私もお会いしたときに説明をいたしました。

質 市長へ就任後手紙が届けられているが、どのように判断し、対応はどうか。

市長 手紙が届いて初めて知りましたので、担当課を呼び、対応、調査をいたしました。これまで申し上げたような内容でありましたので、改めて福島診療所の所長にそのことを伝えるよう指示しました。実際に総務課職員が伝えに行きましたが、そういう報告なら要らないという回答があったというところまで聞いています。

一般質問



富 吉
議員

○市政概況報告について

質 「住み続けたいを実感できるまちづくり」の移住の推進と空き家活用への支援について、平成30年度の移住状況と空き家状況についてお知らせください。

政策企画課長 移住相談会を東京で3回、名古屋で1回、福岡市で4回の計8回行っており、移住の相談を26組34件いただいています。また、移住相談会以外では長崎移住サポートセンターを通じて52件の相談を受けています。

昨年10月から設置したお試し住宅の利用実績は、3組8人となっています。

このような取り組みの結果、移住状況は62人となっています。

都市計画課長 空き家の状況としては、空き家を活用するための空き家バンクに8件の登録があり、1件が所有者の意向による取下げ、残り7件全てが賃貸による成約となっています。

空き家バンク登録物件の改修、家財道具や仏壇の処分費用の一部助成など、移住推進の受け皿となる空き家の活用については、今後とも積極

的に支援していきたいと考えています。

○松浦市職員研修について

質 平成29年度に若手職員による課題解決プレゼンテーションを開催しているが、その後、どうなったか、研修等々を行ってきたか、お聞きいたします。

政策企画課長 プレゼンテーションで最も評価の高かったグループが提案しました外国人観光客を呼び込める農漁業体験、文化交流の提供というテーマについて、より研究を深めるために先進地調査を実施し、最終報告書をまとめています。

その後、事業化に向けて、まつうら党交流公社と意見交換を行い、モデル事業についての具体的な検討が行われ、平成30年度に食と観光のまち推進課で実施した松浦市観光地域づくり推進業務において、提案した内容を盛り込んだ体験プランモニターツアーを実施しました。

この結果を踏まえ、現在、体験型のコンテンツ化に向けた検討が交流公社で行われています。

このほかに、「松浦市長の公務について」質問しています。